

第 19 回マニフェスト大賞・特別審査委員賞〈箭内道彦選〉 受賞【NPO 法人栃木県こども応援なないろ】



この度、当会の食の支援事業である『学校内フードパントリー』の取り組みが、

第 19 回マニフェスト大賞・特別審査委員賞〈箭内道彦選〉を受賞いたしました。

2024（令和 6）年 11 月 15 日、日本最大の政策コンテスト「第 19 回マニフェスト大賞（同実行委員会主催）」で、当会『学校内フードパントリー』の取り組みが、特別審査委員賞〈箭内道彦選〉を受賞いたしました。

栃木県の個人や団体で特別賞を受賞したのは、当会が初とのことでした。

応募総数 3,012 件から、41 件の取り組みが選ばれ、マニフェスト大賞公式ホームページにて、第 19 回マニフェスト大賞「優秀賞」「躍進賞」（計 41 件）が発表されました。

11 月 15 日（金）に虎ノ門ヒルズフォーラムにて行われた授賞式で発表され、当会の取り組みが表彰されました。

箭内道彦先生からは「一方通行の支援にするのではなく、食品ロスを減らしてくれてありがとうと感謝を添えながら、今困っているこどもを今助ける、そのかたちがとても素晴らしいデザインです。この取組みがロールモデルとなり、全国に広がることを願います。」と講評をいただきました。

<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/2024111200010/>

関係者の皆さまのおかげで、素晴らしい賞をいただくことができました。心より感謝申し上げます。

今回選定された取り組み『学校内フードパントリー』について

【概要】

地域企業様から廃棄予定の食品の無償提供を受け、宇都宮市内の中学校 8 校、高校 2 校、大学 5 校でフードパントリーを開催。その学校に通う生徒・学生を対象として、平等に食品を配布。困窮家庭のこどもを特定することなく、「地域企業の食品ロスの削減をしてくれてありがとう」と声をかけることで食品を受取るこども達の精神的負担を軽減し、学校ではSDGs体験として受け入れがしやすい仕組みとなっている。